

授業科目

学習・認知心理学

担当教員名 遠山 孝司	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

授業の概要

心理学の歴史および研究方法に関する基礎的知識の概要を学んだ後、人間行動の基礎となる学習および認知に関する最近の心理学的知識・情報を習得し、理解の深化をはかる。その際、心理学的な考え方の特質と併せて臨床および応用場面における学習および認知の意義についても学ぶ。

授業の目的

感覚、知覚、学習と記憶、思考という脳の情報の処理過程に関連する専門職の前提となる基礎的な知識を身につける。

学習目標

学習及び認知に関する重要な用語・概念を知識として習得するのみではなく、それらが日常生活および職業労働の場における種々の問題にどのように現れ、さらに問題解決に役立っているかを理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション, 感覚(1) 感覚の種類	講義, 実習	遠山 孝司
2	感覚(2), 視覚と聴覚, 触覚	講義, 実習	遠山 孝司
3	知覚(1) 視覚刺激とその処理, ゲシュタルト心理学	講義, 実習	遠山 孝司
4	知覚(2) 錯視のメカニズム	講義, 実習	遠山 孝司
5	知覚(3) 運動の知覚と色の知覚	講義, 実習	遠山 孝司
6	知覚(4) 人間の処理様式	講義, 実習	遠山 孝司
7	学習(1) 心理学の歴史と行動主義心理学	講義, 実習	遠山 孝司
8	学習(2) 行動主義心理学における学習	講義, 実習	遠山 孝司
9	学習(3) 認知心理学における学習と社会的学習	講義, 実習	遠山 孝司
10	学習(4) 効率のよい学習	講義, 実習	遠山 孝司
11	記憶(1) 記憶のメカニズム	講義, 実習	遠山 孝司
12	記憶(2) 記憶の発達と変化	講義, 実習	遠山 孝司
13	記憶(3) 忘却のメカニズムと記憶力をよくするための方法	講義, 実習	遠山 孝司
14	思考(1) 思考と概念, 問題解決	講義, 実習	遠山 孝司
15	思考(2) 推理, 創造的思考と論理的判断	講義, 実習	遠山 孝司

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

平素の学習状況および定期試験の結果で評価する。
試験受験資格は学則によるものとする。そのため出席状況によっては成績評価の対象とならないこともある。

履修上の留意点

原則として講義形式で行う。適宜質問を促し、ディスカッションを行なう。講義への積極的参加を期待する。
種々のデモンストレーションのほか若干の実験(学習効果の転移や伝達による記憶の変容などについて)を予定している。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：月曜日2限（予定）、O513研究室
連絡先：tohyama@nuhw.ac.jp